



2025年11月2日 納骨堂追悼ミサ

死者の月

主任司祭 ビジュ キシャケール

11月1日は諸聖人の日、そして2日は死者の日として教会が古くから祝ってきました。11月に聖人たちと死者のことについて考えましょ

う。聖人たちは特別な恵を受けて生まれたわけではありません。彼らが私たちと同じようにこの世で生きていた方々です。彼らも私たちと同じように誘惑や迷いの中で生きていた方々です。その中でも神様に全てを委ね、すべてにおいて祈りと忍耐を通して神様を優先し、神様を証した方々です。私たちも彼らのように生きれば聖人への道が切り開かれることでしょう。聖人を模範にして日々生きましょ。11月2日の死者の日では、教会は全ての亡くなった方を思い起こし、永遠の安息を祈ります。亡くなった方々が私たちの祈りを待っています。この度、南山教会では主日ミサにおいて、肉親で希望者の名前を募集し、ミサ前に読み上げることになりました。そして午後2時には納骨堂で安置されている帰天された方々のためにミサを捧げ、一人一人を偲びながら、彼らに慈しみ深い神様の憐れみと永遠の安息を祈り求めるために集まりました。キリストを信じる人の信仰としては死が終わりではなく新しい命です。キリストを信じる人々が私たちにミサを捧げ、一人一人を偲びながら、彼らに慈しみ深い神様の憐れみと永遠の安息を祈り求めるために集まりました。キリストを信じる人々が私たちにミサを捧げ、一人一人を偲びながら、彼らに慈しみ深い神様の憐れみと永遠の安息を祈り求めるために集まりました。

への門であります。とは言え、死は誰にとっても辛く耐え難い悲しいことです。場合によって、その悲しみから、病の床に伏してしまう方もいれば、全てがなくなつたかのように、生きる希望さえ失う方もいます。私の母が3年前に亡くなった時に、とても悲しいと思ったことを昨日のように覚えています。それは、きつと大切な方とこの世ではもう関わる事がなく、会うこともできないということを実感することから感じる現実です。愛される方が何もできなくても、そこにいるだけで、その存在だけで安心する事がありますが、しかし、死の出来事が私たちを不安に陥らせるのです。だから、私たちにとって死は悲しいものです。しかし、キリスト教の信仰としては、この悲しい現実から私たちを引き離すのは今日の福音（ヨハネ 6章37-40）であるイエス様が約束してくださる言葉です。この言葉がキリスト教信仰の全てを語ってくださいます。「父がわたしにお与えになる人は皆、わたしのところに来る。。。。わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである」。イエス様の心とはイエス様を信じるすべての人を復活への道に導くこと、永遠のいのちを与えることです。これこそ、イエス様が約束してくださり、キリスト信者である私たちが誇りを持って信じていることです。帰天された方々が私たちから離れていても、キリストが与える報いが私たちの喜びとなり、これからも祈りを必要としている彼らのために祈り続けましょ。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時
ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時（午後4時30分聖体賛美式）
日曜日 午前8時・10時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

巡礼記（10月） 大川 隆
○長崎大司教区の教会

（10月5日）

■国宝大浦天主堂キリシタン博物館は、巡礼指定教会ではありませんが、日本で初めて「小バジリカ」の称号を受けたので、教皇の教令によって巡礼のために訪れることができます。聖堂内ではアナウンス放送が流れ、静かに祈ることはできませんでした。また、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の一つで、「信徒発見」の舞台となりました。旧羅典神学校と旧長崎大司教館にはキリスト教伝来、迫害・殉教などに関わる資料が沢山あり、1時間以上かけてじっくり見学しました。



■大浦教会は、大浦天主堂の向かい側に位置する赤レンガ色の建物です。訪れる人はほとんどなく、静かに祈ることができました。大浦天主堂に観光客が多く訪れ、祈りの場に適さなくなつたので、小教区信徒のため

にこの教会が建設されたのもうなづけます。



■聖フィリポ西坂教会には、二十六聖人のうちのイエズス会士三人の聖遺骨が保管されています。英語ミサに城山教会からお手伝いに来ていた松尾神父様に巡礼者ということで祝福を頂きました。松尾神父様は教皇レオ14世と同じ聖アウグスチノ修道会の日本管区長です。

■西町教会は、長崎唯一の神言

■浦上天主堂は、長崎への原爆投下で全壊しましたが、再建され長崎大司教区の司教座となっています。大聖堂奥の小聖堂に実際の「被爆マリア像」が安置されており、聖堂入り口にはそのレプリカが展示されています。信徒会館には「原爆遺物展示室」があり、後世へ記録を残すために多くの原爆遺品が展示

■中町教会は、長崎駅からほど近い白亜の美しい教会で、聖トマス西と15殉教者に捧げられています。外から差し込む太陽の光がステンドグラスを通して不思議な雰囲気をかもしだし、その中で祈ることができました。

典礼一口メモ
♪香部屋の窓から♪第86回
「奉仕」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

過日は典礼奉仕者の全体集會を滞りなく開催できたこと、大勢の方に参加いただけたことを神に感謝します。このきっかけで以前（第39回）に掲載したお話を繰り返したいと思いま

す。奉仕とは何だろうか？ どうかあるべきなのだろうか？ と言うことについて、よく思いめぐらせます。そしていつもいつても「これだ」と言う答えは出てきません。むしろ「これじゃだめだ」に頭をぶつけます。あ、誤解のないように、南山教会で奉げられる奉仕が「これじゃあダメ」と言ってるのではないです。あくまで個人的な話です。さて、教会で行われる活動は全て奉仕です。ここで取り扱うテーマは典礼に関わる事柄についてですからとりわけ「典礼奉仕」と言うことになりましたが、少しだけ拡大版と言うことで奉仕全般についてお話しさせ

てください。「奉仕」を国語辞典で調べると……【「名」(スル)《古くは「ほうじ」とも》1 神仏・主君・師などに、つつしんでつかえること。「神に奉仕する」

2 利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと。「社会に奉仕する」3 商人が品物を安く売ること。「特価で御奉仕しております」「奉仕品」。

また、ウィキペディアで検索すると……【報酬を求めず、また他の見返りを要求するでもなく、無私の労働を行うことをいう。往々にしてその根拠となる土台には宗教的な信念や、宗教的な意味合いの神奉仕のかたちとして、神ではないもののその代わりとしての、困難な場面におかれている隣人に手を差し伸べ、できる限りの援助を与えるというケースがある。その場合の隣人とは、同じ信仰、たとえばキリスト教の信仰をもつ信徒仲間に限られることもあるし、また十字架を背負わされてゴルゴダの丘に向かう途中のイエスの額の汗をぬぐったナザレ人のように、同じ信仰を持たない人

をも含めていわれることもあ
る。】と書かれています。国語
辞典は日本で書かれています
がウィキペディアは世界中の
人が書き込みますから割合と
世界の共通認識に近いのかも
知れません。このように読み
解いてゆくと無報酬(無私、
見返りを求めない)と言う点、
神に仕えるという点が際立
つてきます。これ、まさに典
礼奉仕の本質ではないですか
か？ 典礼奉仕に限らず教会
で行われる行為は全て奉仕で
す。際立って典礼奉仕は、奉
仕そのものの、まさにザ・
奉仕であるという答えが得ら
れたのです。教会は奉仕で成
立っています。特に典礼はその
一致の証であります。それゆ
え皆さんの奉げる奉仕は尊い
のです。また、典礼奉仕者とは
ミサで人前に立つて奉仕する
人だけではありません。会衆
席に座って歌や祈りを心一つ
に奉げることで参列している
方々、そのミサが奉げられる
ために花や祭壇の布を整えて
くれる方々、仕事や健康上の
理由などでその場にいること
はできなくても置かれた場所
で心を合わせて祈ってくれる
方々、これら多くの奉仕者によ
ってミサはさげられています。



成井司教によるミサと講演会

松浦 典文

10月5日に行われました。神
言会の特徴である「諸文化の交
わり」は、今、最も必要とされ
ていることだと語られました。



典礼奉仕者全体集会（10月12日）主任司祭の話

典礼とはギリシャ語「レイトウ
ルギア」が語源で、公衆のために
行われる奉仕を言います。一人で
行われるのではなく、信者が集
い、大きな組織で行われます。も
ちろん、司祭のみ一人で歌もなけ
れば侍者もなく、全て一人で行う
場合もあります。典礼奉仕の役
割は皆さんのために捧げるところ
にあります。皆さんはミサの時の
奉仕となりますが、教会における
典礼の中心は、司祭が捧げるミサ
そのものです。キリストと共に食
卓につき、ミサそのものが、「父
と子と聖霊のみ名によつて」とい
う三位一体の交わりの中で始ま
り、そして、私たちはミサの始め
に日々の罪の赦しを願い、赦して
いただき、耳で福音を聴いて、味
わいながら、イエス様とともにそ
の食卓に集い、聖変化されたイエ
ス様の御体をいただき、最後にわ
たしたちは祝福をいただき、最後
のことば「：行きましよう、主の
平和のうちに」でミサの中でいた
だいた恵みを出先で生かすよう促
されています。つまり、ミサが終
わりお御堂を出たら、そこだけで
終わるのではなく、出先で、他の
人々に主のみ言葉を伝えていくた
めに派遣されていきます。このミ

サに皆さんが積極的に参加するた
めには典礼奉仕者の方々が重要な
役割を持ちますが、ミサに参加す
る一人一人の積極的な参加が求め
られています。そのために、当日
の聖書箇所などを前もって読み、
語られる言葉の意味を前もって味
わうような心がけることも大切で
す。

【続いて、それぞれの役割について力説された。】

務めにはいろいろあります。香部屋係、その時に必要な書類の準備、または大きなミサではパンフレット準備、祭具の管理、聖布、お花飾りの方の準備などもあります。また、当日は、わたしたちの大きな役割として、進行係（祭儀に相応しい落ち着いたアナウンスのために当日の流れ、教会のお知らせを前もって把握する必要があります）。朗読奉仕（神の言葉を自分の肉声を持つて神の言葉を受け止め、会衆に聞かせる役割、落ち着いて大きな声ではっきり朗読する、感情を入れない、マイクを通して誰かに聞いてもらつて練習することもある）。先唱奉仕（答唱詩編・アレルヤ唱を歌い、聞く側が先ほど読んだ聖書箇所を味わい、福音を聞く心の準備へと導く、会衆が聞こえないことがないように、また早口にならないよう

に、前もって準備が必要）。奉納の係（この教会では、単独の奉仕ではなく、まとめて、案内係の方や、他の奉仕者が担当しているが、どのタイミングで担うのか、ミサの流れを把握する必要がある）。聖歌隊（会衆の皆さんが一緒に）。聖歌隊（会衆の皆さんが一緒に）。緒についていけるようにという役割をもっている、典札ミサそのものを飾りつけている、会衆が神への賛美として歌えるように会衆を引く張っていく役目）、侍者（祭壇の近くで奉仕する、主の食卓につきます、特に子どもたちの役割です）、子どもたちには侍者奉仕の大切さを教えていきます。

【最後にミサ参列者の方も役割の紹介もあつた。】

何も見ないで聞く、自分の手元の聖書のパンフレットを読むのではなく、読まれる聖書箇所を耳で聞くことが大事、そして、みことばを味わい、歌を歌い、受け答えをし、キリストとの交わりに参加します。

時々もしかしたら、何をしているか、わからなくなることがあるかもしれない、特に奉仕者の方にはミサの流れをしっかりと覚えておいていただきたいです。ミサの流れを把握しながら、どのタイミングで祭壇に上がるのか、いつ朗読するのか、どこで歌うのか、

どこでアナウンスするか、自分の役割をどこで担うのかとしっかり受け入れておきましょう。かたくなに思うのではなく、丁寧な典礼を行うことによって、また心を豊かにしていくことになりま
す。奉仕の方々がしつかり準備をし、人々が積極的に参加できる手助けとなりますように。また、ミサに参加されるたびに信徒の方々が典礼奉仕者の役割をミサに参加するたびに心に留めていただくことをお勧めします。

文責 伊澤美由紀



“死者の日”についてのワンポイント

川原 稔

●「死者の日」とは

毎年11月2日、カトリック教会は「死者の日」を祝います。この日は、すべての亡くなった人々、特に煉獄にある魂のために祈る日です。教会は、死者も神の慈しみのうちに生かされていると教えます。『カトリック教会のカテキズム』によれば、死後のいのちは地上のいのちの延長ではなく、神との最終的な交わりに入るための門です。したがって、「死者の日」は悲しみの記念ではなく、希望と愛の記念なのです。

■教会の教えと教義

教会の信仰は「死者の復活」を中心に据えています。イエス・キリストは「わたしは復活であり、いのちである。わたしを信じる者は、死んでも生きる」（ヨハネ11・25）と語られました。第二バチカン公会議の『教会憲章』も、地上の教会、煉獄の教会、天の教会が一つの「交わりの神秘」をなしていると述べています。したがって、死者のために祈ることは、単なる追悼ではなく、神の慈悲に自らをゆだねる愛の行為なのです。

■祈りと秘跡の意味

死者の日には、ミサ聖祭が特に大切にされています。ミサはキリストの十字架の犠牲の現存であり、死者の罪のゆるしと救いのためにささげられます。教会法も、信者が死者のために祈り、ミサをささげることを勧めています。また、信者は墓地を訪れ、死者のために祈ることで「諸聖人の交わり」を実際に生きますのです。これは「隣人を愛せよ」という十戒の精神、そして「死者のために祈る」という教会の六つの戒めの実践に他なりません。

★死は終わりではなく、希望の始まり

カトリックの信仰において、死は滅びではなく、永遠のいのちへの旅立ちです。私たちは死者のために祈りながら、自分自身の信仰を新たにし、復活の希望を深めていきます。「主において死ぬ人は幸いです」（黙示録14・13）。この言葉のように、「死者の日」は恐れではなく希望の祭日です。亡くなった人々を思い起こすとき、私たちもまた神の慈しみのうちに結ばれていることを思い出し、永遠のいのちを目指して歩み続けるのです。

2025年10月26日 バザー



第7回小教区宣教司牧評議会

11月2日

司祭団より

バザーお疲れ様でした。倉庫の整備をこれから具体的にやってみましょう。特に、机などが取りやすいように、また、余ったものは保管するよりどこか寄付するなどで整理していきましょう。

司祭館の物置を教会の玄関（左側、現在ガスストーブをおいてある場所へ移動予定。折りを見て）

11月9日はトランさんニヤットさんの初ミサですが、8月15日のように、お祝いをしましょう。当日のミサ献金を彼らへの献金と考えています。信徒には当日ミサ献金の意向を今週に伝え、信徒の気持ちを通して金に反映できればと思います、今週のお知らせで伝えることにしました。

来年の5月に向けて、教会庭に百合のタネを植えたいと考えています。16日（日）に植える方向で、司祭団と有志の方々で準備します。

12月7日は神学院から神学生がミサにきます。信徒に神学生のことを知ってもらいたいためミサです。当日 9時30分のミサにします。今までは神学院への献金は教会でまとめて準備しました

が、今年から信徒の気持ちを直接伝えられるようにと思い、前もって封筒を準備することは如何でしょうか。

報告・連絡事項

1. 11・12月予定確認（信徒代表）

別紙のとおり。

11月8日75周年記念パイプオルガンコンサート、トラン新司祭初ミサ、11月9日トラン新司祭初ミサ・茶話会、11月23日（日）避難訓練、11月は教会周辺清掃を行わない。12月7日神学院参加ミサ9時30分ミサのみ・評議会、12月14日教会周辺清掃、12月21日75周年記念ミサ9時30分、12月24日17時と19時に主の降誕前夜のミサ、12月25日10時に主の降誕ミサ

2. 成井司教司式による記念ミサと講演会について（主任司祭、典礼委員会）

10月5日（日）9時30分ミサを多言語ミサとした。ミサ後に成井司教の講演会を行った。神言会の特徴である「諸文化の交わり」は、今、最も必要とされているものと話された。多様化した世界では、国籍の違い、主義・主張の違い、宗教や文化の違い、世代の違い、性別・性自認の違いが当たり前に近くにある。違いを愛の交わりによって乗り越えることがキリ

スト教の根本にある。教会は交わりの中で愛を伝えていくのだという話を話された。12月21日の75周年ミサにも参加予定。

3. 典礼奉仕者全体集会（典礼奉仕者の会）

10月12日10時ミサ後に大聖堂で行った。10時ミサは典礼奉仕感謝ミサとして捧げられた。典礼についての様々な確認があった。また、今後、典礼奉仕者の当番表を司祭団が作成することになった。何かあれば神父様に相談してもらいたいですし、世代を超えて子供に朗読してもらうなど今後も検討していきます。

4. 教会の設備について（営繕委員会）

聖堂玄関の屋根の雨漏り修理、クリスマスイルミネーション飾りを信盛建設に依頼し、11月に行っていたが、また、マリア館倉庫の雨漏り対策は側溝をコンクリートで固めるなど検討中。エアコンの室外機にも水が溜まるので、要検討。

周辺の木々の剪定と伸びすぎた木々の伐採については、お知らせの文書を皆さんに配布し、ご理解をいただいた上で行うようにする。

香部屋出口扉の修理は業者に頼むことなく、安井営繕委員会のご奉

仕にて完了した。同様にマリア館2F女子トイレ、聖堂側面の女子トイレの鍵の修理も行う。

掃除道具などをかけやすいようにそれぞれところにフックをつけたので、これからそのフックにかけてください。

5. バザーについて（バザー実行委員会）

10月26日（日）に実施した。天気が心配されたが、多くの時間帯で雨は降らなかった。中庭ではインドネシアやベトナムのダンス、ホールでは歌やピアノの演奏などで楽しい時間を過ごすことができた。収入72万円 支出16万円 純益はおよそ56万円。

6. 信徒協について（信徒協顧問）

信徒協の在り方について存続是非について、10月11日（土）の役員会にて、継続審議を行ってまいりました。2026年3月31日まで、現在の信徒使徒職協議会を終了しようという結論に達しましたので、お知らせいたします。

50年続いた信徒協のよいところや考えを今後どのような形で名古屋教区の信徒の中に残していくかを残った時間で検討し、教区の皆さんにオープンにしていくかを考えてまいります。残った時間には、12月20日（土）のチャリティ上映会

を布池教会地下にて午後一時から「フイリピンパブ嬢の経済学」と原作者のトーク、26年2月11日（祝日）に松浦司教司式のごミサを行うことが、現時点で決まっています。

7. その他

・城東ブロックの定例会議11月16日、社会委員会12月13日金沢にて、名古屋（布池地下ホール）では2月7日を予定

審議・相談事項

1. 75周年記念パイプオルガンコンサートについて（オルガン管理委員会）

11月6日（木）望月オルガンが1日点検と調律を実施

11月7日（金）15時～18時 椎名氏前日リハーサル

11月8日（土）10時～12時 椎名氏当日リハーサル 13時開場 プログラム配付（マリア会） 会場案内など（ヨセフ会） スクリーンに演奏曲目を投影（要約筆記の会）

13時開演 ビジュ主任司祭のご挨拶と聖書朗読 前半の演奏のあと10分休憩 後半は聖書朗読のあと演奏 15時20分演奏終了後 椎名氏のご挨拶 15時30分終了

2. 来年度信徒代表の選出について（信徒代表）

今年度で、現信徒代表の任期が

満了する。1月の評議会までにヨセフ会とマリア会から信徒代表の推薦者を出してほしい。

※ 評議会規約第5条（1）信徒代表の選出には、ヨセフ会、マリア会から信徒代表の任期満了の3ヶ月前までに各1名推薦し、本会にて検討する。信徒代表の任期満了の3月に、本会の議を経て、主任司祭が任命する。その任期は2年とする。再任を妨げない。但し、その任期は、最長4年を限度とする。信徒代表に任命された者は、各種団体の代表を兼務することとは出来ない。

3. バザー収益の使途について（バザー実行委員長）

バザー収益の使途について確認する。30万円をカリタスに寄付することと決議されました。

当日雨の心配のためにキャンセルになってしまった牧野が池ブリーズバンドについては、11月9日、もしくは12月21日で可能か確認することになった。

4. 75周年記念ミサについて（信徒代表・典礼委員長）

代表・典礼委員長

12月21日（日）9時30分から松浦司教の司式による多言語ミサを行う。

土曜日は4時30分から5時30分の聖体賛美式を行い、前半の祈りと黙想をして21日の日に備える。

パーティーをマリア会にて引き受けていただく。教会学校の聖劇は12月14日（日）に行う。

5. 大聖堂やトイレなどを毎月みんなで掃除する日を設ける件（司祭団、営繕委員会）

皆さんが安全に掃除しやすいように、コードレス掃除機を準備し、聖堂、小聖堂、香部屋、ホール、マリア館などにそれぞれ設置する。また、世代を超えて多くの方々が参加していただくためにこれから大聖堂やトイレなどを毎月みんなで掃除する日を設ける方向を探りたい。

業者による掃除は週に1回大聖堂、マリア館のホールや集会室とトイレ、月に1回納骨堂の地下を掃除。2か月に1回、大聖堂とホールをワックスがけしている。

今の業者の掃除担当者は事務所メンバーがいる日に綺麗に掃除してもらっている。大聖堂はマリア会、納骨堂は有志の方が掃除をしています。継続審議となります。

各会報告

・典礼委員会

今年は行事が多いこともあり、黙想会、共同回心式は行わず告解の機会を平日にも設けます。

11月30日（日）10時ミサ後にクリスマスツリー出し

12月7日（日）宣教地召命促進の

日にあたり、神言神学院神学生が奉仕。ミサは9時30分のみ・ヨセフ会

11月8日（土）記念コンサートの案内係は2名～3名を確保

11月9日（日）新司祭ミサ後パーティーについて、バーベキューはバザーと同じ規模の材料を準備（松浦さんご担当）

飲み物はバザーで寄付いただいたビールが残っており、あとソフトドリンクやタライ、氷を準備

11月23日（日）10時ミサ後の避難訓練は例年通り実施予定。

次回 12月7日



10月12日ウィル神父様霊名お祝い

煉獄にいる靈魂が語る！

これほど人の心を感動させ
る本はめったにありません。
オーストリアの山地に慎ましく
暮らすマリア・シンマは、五十
年以上の間、煉獄の靈魂の訪問
を受けるカリスマを頂きまし
た。この本で彼女は、自分の体
験と煉獄の靈魂たちから告げら
れたことを語っています。彼女
は次のような質問に答えます。

煉獄とは何か？その中で何が
起こっているのか？靈魂がそこ
へ行くのを誰が決めるのか？そ
こへ入る原因となるのはどんな
罪なのか？どんな方法で煉獄か
ら救い出せるのか？どうすれば
煉獄に行かないで済むのか？自
殺した人、子供、他宗教の人は
どうなるのか？

この本は空白を埋めるので
す。実に、現代、これらの現実
についてなかなか耳にすること
はありません。

この珍しいインタビューは、
死のかなたの世界に光を当て、
愛する身内を失った人に新しい
世界を発見させます。

『煉獄にいる靈魂の驚くべき
秘訣』いつくしみセンター発行
より

信者の消息

受洗

おめでとうございます

マリア LE THI MAI QUYEN
アンナ NGUYEN THI DUNG
ヨゼフ DANG VAN QUY

結婚

♡お幸せに♡

ANTON DINH VAN PHU ♡
MARIA TRAN THI HOA

転入

ようこそ

アロイジオ 堀 和雄 (布池教会)

転出

いつまでもお元気で

ドミニコ 永富 博 (上福岡教会)
テレジア 本多 良子 (小倉教会)
ペトロ 本多 淳 (小倉教会)
エリザベト 本多 理沙 (小倉教会)

12月ミサ予定

*12月7日(日) 9:30 (8:00、10:00、英語ミサあ
りません) 神言会神学院によるミサ

毎年、12月第1主日の宣教地召命促進の日は、神
言会神学院の司祭、神学生によるミサとなってい
ます。このミサは、神学生養成への理解を目的と
しています。

この日のミサは、神言会の教会である南山教会共
同体が一つになって、神言会の召命、神学生の養
成を祈り、協力するためにミサ献金を神学生養成
のために献金したいと思いますので、皆様のご協
力をお願いします。

*12月20日(土) 16:30 聖体賛美式、75周年記念
ミサへの祈りと黙想 (17:00ミサはありません)

南山教会共同体がひとつになり、翌日の75周年記
念ミサに与りましょう。

*12月21日(日) 9:30 (8:00、10:00、英語ミサあ
りません) 75周年記念ミサ・堅信式

2025年11月・12月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
11月	死者の月 1(土)諸聖人の祭日 2(日)死者の日 9(日)ラテラン教会の献堂 23(日)王であるキリスト 30(日)待降節第一主日 (A年)	2(日)予算審議開始 2(日)14:00ヨセフ館追悼 ミサ(大聖堂) 8(土)75周年記念パイプオ ルガンコンサート 16(日)七五三	1(土)典礼委員会 2(日)小教区宣教司牧評議会 21(金)マリア会例会(遠足) (日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃 22(土)子ども部屋 22(土)要約筆記付きミサ 0中高生会遠足	2(日)東八事第二墓地 合同追悼ミサ 9(日)城東ブロック会議 15(土)レジオマリエ名古屋 クリア 16(日)~23(日)聖書週間
12月	8(月)無原罪の聖マリア 25(木)主の降誕 28(日)聖家族	21(日) 75周年記念ミサ 9:30 24(水)主の降誕の前夜ミ サ 17:00 (要約筆記付き) 19:00 (多言語ミサ) 25(木)主の降誕ミサ 10:00 31(水)年末感謝ミサ 10:00	5(金)マリア会例会(懇談会) 6(土)典礼委員会 7(日)小教区宣教司牧評議会 (土)要約筆記付きミサ (土)子ども部屋クリスマス会 14(日)教会学校クリスマス劇 中高生会クリスマス会・ヨセフ会 班長会・エマオの会・	7(日)宣教地召命促進 の日(献金) 20(土)レジオマリエ名古屋 クリア